

# 同窓会だより

第62号

発行

長野県松本ろう学校同窓会

## 松本ろう学校 第42回 はと祭

松本ろう学校文化祭『第42回はと祭』について、下記の通りお知らせします。尚、母校からチラシ（プログラム）を頂きましたので、配布いたします。是非『はと祭』にお越しく下さい。

《日時》 10月13日（土） 校内公開

10月14日（日） 一般公開

《場所》 長野県松本ろう学校

〒399-0021 長野県松本市寿豊丘820番地

FAX0263-85-1411



### 同窓生作品展

- ◆ 趣味で作られた『作品』 ・絵画、写真、工作などをたくさん出品してください！！
- ◆ ビデオ上映「同窓会の活動の様子」などを行いますので、是非、見に来てください！



### 喫茶コーナー

▼ 10月14日（日） 11:00 ~ 14:00

- ◆ 同窓会として、コーヒー販売担当になりましたので、是非お出かけください。

### ■ 同窓生作品展の準備について

10月12日（金）の夕方（4:00 ~ 6:30）、13日（土）の朝（8:30 ~ 9:30）

母校・会議室にて準備を行いますので、作品を持参して展示してください。

- ◆ 同窓会係 ⇒ 上嶋太先生までご連絡ください。 FAX0263-85-1411

**大勢の皆様のご来場をお待ちしております！！**

# 松本ろう学校だより



## 第42回はと祭において

長野県松本ろう学校長 米持 絹子

今年の夏はいつまでも暑い日が続きましたが、会員の皆様におかれましてはお元気でお過ごしのことと存じます。学校では全員元気に2学期をスタートしました。2学期一番の行事はみんなで創り上げる「はと祭」です。テーマ「飛翔」～みんなで輪を作って空へ飛び立とう～の下、一人一人が自分の羽でより高く、より遠くまで飛び立つことができますよう、応援いただければ幸いです。たくさんのドラマが待っています。10月14日のお越しを心からお待ちしています。

## はと祭 10月14日(日) 一般公開

松本ろう学校高等部生徒会長 飯田 光海

第42回はと祭実行委員長 笹平由美子

同窓会の皆様、残暑お見舞い申し上げます。今年もはと祭の時期が近づいてまいりました。今年のはと祭のテーマ「飛翔(ひしょう)」には、みんなの気持ちをひとつの輪にして、大空(未来)に向かって飛びたとう、という願いが込められています。今、ステージ発表の練習を一生懸命やっています。同窓会の皆さん、ぜひ今年もはと祭に来て下さい。児童・生徒一同、お待ちしております。

## 松本ろう学校同窓生 亀割諭さん おめでとうございます!

～写真コンテスト入賞作品「富士フィルム賞」～

去る6月7日(水)～10日(日)京都府京都市勧業館(みやめっこ)にて、第60回全国ろうあ者大会や第27回全国聴覚障害者写真コンテスト入賞作品展などが開催されました。

母校同窓生の亀割諭さんが、写真コンテスト入賞作品:題名『祭りの厄ばらい』★富士フィルム賞を果たしました。

尚、10/14(日)母校はと祭(同窓会展)に、亀割さんの写真作品を展示しますので、ご覧ください!



題名『祭りの厄ばらい』

★富士フィルム賞

## 松本ろう学校高等部 2年 藤川彩夏さん おめでとうございます!

### ～ 水泳・韓国ソウル大会にて、金・銀・銅メダル獲得 ～

松本ろう学校高等部2年の藤川彩夏（ふじかわ・あやか）さんは、去る5月25日～6月3日、韓国ソウルで開催された第7回アジア太平洋ろう者競技大会の水泳競技（5月28日～31日）で日本代表として出場しました。

松本ろう学校同窓会役員一同より、母校の後輩となる藤川さんに御饞別を贈りました。

6月16日（土）午後1時より松本市中央公民館に、藤川彩夏さんとお母様が来場し、水泳競技大会の記録とお土産話や見事なメダル7個を見せて頂き、とても感動しました。

尚、水泳大会・競技結果については、下記をご覧ください。

藤川さんはこれからの水泳競技大会に向けて頑張っているそうですが、私たち同窓会も応援しており、藤川選手のご活躍を期待しております。

## 藤川選手：水泳大会の競技結果

50mバタフライ	30 秒 46（◎日本新）	1 位（金）
50m背泳ぎ	35 秒 00	3 位（銅）
400mメドレー	5 分 28 秒 72	1 位（金）
100m背泳ぎ	1 分 14 秒 79	1 位（金）
200m背泳ぎ	2 分 37 秒 98	1 位（金）
200mバタフライ	2 分 34 秒 08	3 位
200mメドレー	2 分 36 秒 29	2 位（銀）
100mバタフライ	1 分 06 秒 75	2 位（銀）

★メダル：金4個、銀2個、銅1個



## 長ろう同窓会と松ろう同窓会との交流会を開催して

去る7月21日（土）～22日（日）安曇野市堀金「ほりで一ゆ～四季の郷」マレットゴルフ場にて長野ろう同窓会と松本ろう同窓会との交流会（マレットゴルフ大会）が行われました。



松本ろう同窓会長・葦澤正敏氏



楽しいマレットゴルフ大会



宴会（親睦会）にて開催



長野ろう同窓会長のあいさつ（桜井一男氏）



安曇野市豊科「ビレッジ安曇野」にて、記念写真

# 第21回全国聴覚障害教職員シンポジウム 信州まつもと大会

松本ろう学校初代校長を務めたろうあ者小岩井是非雄先生のゆかりの地である長野県松本市。去る8月3日（金）～5日（日）、第21回全国聴覚障害教職員シンポジウム信州まつもと大会が長野県松本勤労者福祉センターにて開催され、160名位の参加者が全国から集まった。主催は、会員380名以上の全国聴覚障害教職員協議会である。

また、女性初のろう校長（森田雅子先生）が大阪市立聴覚特別支援学校に今年春に就任されたという情報もあった。

3日（金）、私は特別講演依頼を受け「小岩井校長先生の生涯」という題で、パワーポイントとビデオを使って、解説をした。小岩井先生胸像（手話・元気！）も展示した。



4日（土）は分科会「あなたの思いを伝える身体表現力のワークショップ～島崎藤村『初恋』～」にも参加した。演出家の庄崎隆志先生より、身体詩（カラダウタ）によるワークショップ（体験型講座）で、島崎作『初恋』という詩を、身体（読み理解、表現）として伝えるための芝居を考えて練習をした。その日の夜は、松本ホテル花月で懇親会が行われ、分科会の参加者たちは、身体詩『初恋』の芝居を披露した。

3日間の大会開催にあたり、実行委員長の上嶋太先生（松本ろう学校）や実行委員の先生の皆さんの逞しさに、改めて敬服した次第である。

（内田記）



聴覚障害と教育を考える  
全国から聴覚障害がある教職員らが集う「第21回全国聴覚障害教職員シンポジウム」が、5日までの3日間の日程で、松本市の県松本勤労者福祉センターで開催されている。約160人が参加。4日はワークショップ（体験講座）や模擬授業を行い、授業の進め方や働きやすい環境作りなどを考えた。聴覚障害がある教員が学校で教える際の課題などを考えようとする。4日は5つの分科会などがあつた。教指導を検討した分科会では、特別支援学校教員が模擬授業を実施。生徒が自分の障害を肯定的に捉えられるよう、聴覚障害のことを手話で他人に説明する練習をした。身ぶりで考えを伝えられるよう、豊かな表現力を養うワークショップを実施。参加者が全身を使って自己紹介。柔道が好き」と投げ技の動きで表現した女性もいた。

信濃毎日新聞（2012/8/5）

# 富山ろう学校同窓会総会及び記念講演会

去る8月11日（土）午後1時より富山県立富山聴覚総合支援学校（旧・富山県立富山ろう学校）にて、富山ろう学校同窓会総会及び記念講演会が開催され、参加者は30名以上であった。

総会は、先ず同窓会長岡島武さんが「昨年大成功させた開校創立80周年と同窓会創立60周年の記念事業の報告」と挨拶され、続いて学校長柳田由紀先生も「同窓会の皆様に感謝・・・！」と手話で挨拶を頂き、非常に感動した。

総会終了後、私は講師として、演題「松本ろう学校同窓会の歴史と活動」についてパソコンパワーポイント使って講演をした。そして「①平成23年度同窓会活動の様子 ②小岩井是非雄校長先生の生涯」のビデオ上映会も行った。更に、囲む会を開いて頂くなど大変お世話になった。

（内田記）

## 《 記念講演会の感想 》

松本ろう学校同窓会の歴史と活動」の講演は、とても勉強になりました。またプロジェクターの文字が大きく見栄えも良かったです。今まで富山ろう学校同窓会活動をしていない私達は、松本ろう学校同窓会活動を見習って少しずつ取り組んで行きたいと思います。今度、松本ろう学校&富山ろう学校との同窓会交流会があったらいいなあと思っています。講師の内田博幸様、ありがとうございました。（富山ろう学校同窓会事務局長 中瀬智博）



平成24年度同窓会総会 平成24年8月11日（土） 於：富山県立富山聴覚総合支援学校

# 【聾史だより②】

## よこ お よし とも ろうあ村長：横尾 義智

内田 博幸（日本聾史学会役員）

横尾義智氏は1893（明治26）年、新潟県小黒村（現・上越市安塚区）の農家に生れた。9歳（明治36年）の時、官立東京盲啞学校（旧・国立筑波大学附属聾学校）に入学、尋常科を経て、図画科にて学んだ。卒業後、絵筆を捨てて故郷の村のために一生働こうと決意した。昭和9年、41歳の横尾氏は、村民に推されて小黒村長に選出された。わが国で最初にして最後のろうあ者村長の誕生である。戦後、公職追放（パージ）を迎えたため、昭和21年、53歳の横尾氏は、12年間務めた村長を退職した。

その後、わが国のろう者の福祉向上に尽力し、藤本敏文氏らと共に活躍し、日本聾啞協会では、財政部門を担当していたそうである。

晩年は、別荘で療養していたが、1963（昭和38）年に逝去。享年69歳であった。

★上越市安塚区には、「横尾義智記念館」とお墓、旧雪室、生家跡公園がある。

※東京盲啞学校では、横尾氏の第20回（明治41年）卒業、小岩井是非雄氏の第21回（明治42年）卒業として同窓生であった。

参考資料：筑波大学附属聾学校「同窓会史」、故横尾義智氏を偲ぶ会（小平邦幸）他

### 上越「ろうあ」の村長さんの絵本完成



記念館の前で完成した絵本を持つ小平さん  
絵本は3千部作り、上越市の小中学校や全国の特別支援学校などに500部を寄付した。1冊900円で販売もしている。問い合わせはおくろ町内会長の八木さん（☎025・592・2382）へ。

全国初のろうあ者の村長として知られる新潟県東頸城郡旧小黒村（現上越市安塚区の一部）の横尾義智さん（1893～1963年）の生涯が絵本になった。書名は「そのままがいいよ～ろうあ村長さん」。旧小黒村の「おくろ町内会」と、横尾さんを慕う長野県のろうあ者らでつくる「故郷横尾義智氏を偲ぶ会」が、子どもたちに横尾さんの人柄や功績を分かりやすく伝えたいと、2年前から準備してきた。横尾さんは地主の家に生まれ、旧官立東京盲啞学校（現在の筑波大付）

### 長野の小平さんも尽力

属聴覚特別支援学校）を卒業。帰郷後は農協の前身となる組合の代表となり、1934（昭和9）年から3期12年村長を務め、自宅に託児所をつくるなどして住民から頼まれた。ろうあ者の社会参画にも貢献し、全日本ろうあ連盟設立などにも尽力。戦後この活動を通じて小平邦幸さん（86）長野市吉田と知り合い、亡くなるまで交流があった。「偲ぶ会」は小平さんらの呼び掛けで結成し、ことし16年目。毎年7月下旬、上越市にある横尾さんの旧宅の倉庫を改装した記念館前で、旧小黒村の地元住民らと交流会を開いている。小平さんは、絵本を「いろんな人に読んでほしい」としている。



## 東海分会だより



### 「金沢の歴史・風情を楽しむ百万石城下まちめぐり 一泊旅行」のお知らせ

◆日時・観光：平成24年10月27日（土）～28日（日） 兼六園、長町武家屋敷跡ほか

◎東海分会会員の他、どなたでも参加できますので、  
参加希望の方は、東海分会長：新海和子まで  
お問い合わせください。



※詳しい内容は、チラシを配布いたしますので、ご参加ください。

【お問合せ先】会長：新海和子 ⇒ FAX052-652-3737

### ■ 同窓会 会費納入 のお願いについて

- ・「賛助会員」は、旧・現職員、PTA、親の会、同窓会会員以外（友人でも可）から募集
- ・年会費500円 ◆「同窓会だより」と「白鳩の友」を配布いたします。
- ◎「賛助会員」募集については、同窓会事務局長：内田博幸までお問い合わせください。

FAX0263-72-9328

### ■ 同窓会「賛助会員」募集について

- ・「賛助会員」は、旧・現職員、PTA、親の会、同窓会会員以外（友人でも可）から募集
- ・年会費500円 ◆「同窓会だより」と「白鳩の友」を配布いたします。
- ◎「賛助会員」募集については、同窓会事務局長：内田博幸までお問い合わせください。

FAX0263-72-9328

## ■ 第15回 日本歴史学会 神戸大会

会期：平成24年11月10日（土）11日（日）

会場：兵庫県神戸市「神戸市立葺合文化センター」

【お問合せ先】参加希望の方は、日本歴史学会事務局までご連絡ください。

FAX082-271-2403



### 【あとかぎ】

スポーツの秋、美術の秋などを迎え、同窓生の皆様にはお元気でご活躍の事と存じます。

さて、10月14日（日）はと祭が開催（一般公開）されますので、同窓生の皆様のご参加を心からお待ちしております。

（同窓会事務局長 内田記）